

**測量法施行令の一部改正（日本経緯度原点及び日本水準原点の原点数値の変更）について**

平成23年3月11日発生した東北地方太平洋沖地震の影響により変動した日本経緯度原点及び日本水準原点について、改測作業を実施し、平成23年10月21日に測量法施行令第2条（日本経緯度原点及び日本水準原点）に規定する原点数値の改正を実施した。

**<日本経緯度原点の略歴>**

日本経緯度原点は、東京都港区麻布台2丁目18番1地内にあり、港区の指定文化財にもなっているものである。その略歴は、明治25年に東京天文台の子午環の中心を日本経緯度原点と定められたのが始まりである。その後、大正12年の関東地震により子午環が崩壊したため、原点位置に金属標を設置した。平成13年に測量法が改正され、測量の基準として世界測地系が採用されたことにより、金属標の十字の交点を原点の地点とし、最新の宇宙技術を用いて測量し、原点の新たな経度、緯度及び方位角の数値を定めた。

今回、平成23年3月11日の東日本大震災による地殻変動により、再度原点において測量作業を実施し、原点数値を改正したものである。

**◆改正後の日本経緯度原点数値**

経度：東経 139° 44' 28" 8869

緯度：北緯 35° 39' 29" 1572

原点方位角：32° 20' 46" 209

**◇改正前の日本経緯度原点数値**

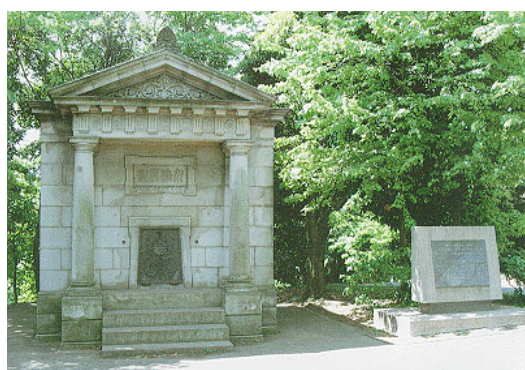
経度：東経 139° 44' 28" 8759

緯度：北緯 35° 39' 29" 1572

原点方位角：32° 20' 44" 756

**<日本水準原点の略歴>**

日本水準原点は、東京都千代田区永田町1-1（国会前庭北地区内：憲政記念館付近）にある。その略歴は、当初、明治6年から同12年までの霊岸島量水標における平均海面の観測結果をもとに、明治24年に陸地測量部が日本水準原点内部の水晶板に取り付けた霊分画線の中点の標高値を24.5000メートルと決定し、日本水準原点を設置した。その後、大正12年の関東地震発生後、地震による水準原点の変動量を求め、昭和3年、日本水準原点の標高値を24.4140メートルと改訂した。今回、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震による地殻変動により、再度、地震による水準原点の変動量を求めて、原点数値を改正したものである。

**◆改正後の日本水準原点数値**

東京湾平均海面上：24.3900メートル

**◇改正前の日本水準原点数値**

東京湾平均海面上：24.4140メートル